

日本工学アカデミー 第4回 政治家と科学者の対話の会

公益社団法人日本工学アカデミーでは、アカデミー会員と国会議員との対話の会を随時開催している。コロナ禍で少し間が開いたが、5月27日、第4回となる「政治家と科学者の対話の会」を都内の衆議院第一議員会館で開催した。



話題提供の関谷氏、和田氏、松尾氏ら（左端は同アカデミーの永野博・政策共創推進委員長）

今回の話題は「スタートアップ創出・成長支援の課題と政策」。話題提供として、関谷毅大阪大学総長補佐・日本工学アカデミー若手委員会委員長が「ネクストイノベーションへ伝える起業・創業の魅力」、和田幸子（株）タスカジ代表取締役が「働きやすく自分のために、人のた

めに」自身の『当事者体験』から社会課題を解決するためのスタートアップを起業する」と、松尾豊東京大学教授が「次世代の起業・イノベーション人材の育成に向けて」について講演を行った。出席した伊佐進一、大野敬太郎、大串正樹各衆議院議員、新妻秀規衆議院議員は大きな関心を示し、アカデミー会員も交え熱心な、同一目線での対話が行われた。



開会挨拶をする伊佐進一衆議院議員（衆議院第一議員会館）